

令和8年9月改定版です！
令和8年4月配付のピンクの
プリントは処分してください！



各種『警報』発令時における児童の安全確保について（要保存）

令和8年9月
横浜市立左近山小学校

◎登校前、在校中に各種『警報』が発令された場合、子どもの安全確保について原則として以下のような対応を行います。

	発 表 状 況		家 庭 の 対 応		学 校 の 対 応 と 連 絡 方 法		
登 校 前	特別警報 暴風警報 大雪警報 暴風雪警報 火山噴火降灰予報 レベル4以上の 大雨危険警報 土砂災害危険警報	午前6時の 時点で横浜市 北部内に、左記 の警報が発令 継続中の場合	○テレビ・ラジオ・インターネット等により警報発令時の情報をキャッチし、 <u>児童の登校を中止</u> させてください。		○午前6時の時点で警報発令中であれば、全市一斉臨時休校です。 原則として、 <u>学校からの連絡はありません。</u> ○前日、教育委員会が全市一斉臨時休校の判断をした場合は、学校からすぐーる配信を行います。		
	暴風警報を伴わない レベル3 大雨警報 土砂災害警報		○テレビ・ラジオ・インターネット等で状況を把握し、 <u>すぐーる配信</u> されているか、時々チェックをお願いします。 ○各家庭の判断で登校を遅らせるなど安全に配慮してください。 安全に配慮し、遅刻またはやむを得ず欠席をしても遅刻欠席扱いとはなりません。ただしその場合は、欠席等の事由を把握するために、必ずご連絡ください。		○原則として、平常通り授業を行います。学校からの連絡はありませんが、補足的にすぐーる配信する場合があります。 ○学校が必要と判断した場合、休校とし、すぐーる配信を行います。		
	Jアラート (全国瞬時警報システム) ※自然災害以外の警報	発信時	○警報が出ている間、登校を見合わせ、建物内で安全を確保してください。 ○警報解除を確認したら、安全を確認して登校を再開させてください。 ○可能な方は、付き添いや要所に立つなど、登校の安全にご協力ください。		○Jアラートの緊急情報対象地域に神奈川県が含まれている場合でも、Jアラートの通知をもって学校が臨時休校になることはありません。 ○原則として警報が解除されたら登校を再開します。補足的にすぐーる配信することがあります。		
	大規模地震 (震度5強以上) ※旭区が震度5弱以下でも、他区で震度5強以上が観測された場合	発生時	○ <u>登校は中止</u> してください。 ○被害が少ないなど、学校が判断すれば、授業実施の場合があります。		○ <u>当日と翌日</u> は、全市一斉臨時休校です。原則として、 <u>学校からの連絡はありません。</u> ○授業実施の場合は、すぐーる配信に努めます。		
	(大型台風の接近や大雪の影響での) 市内鉄道会社全社(JR線、東急線、みなとみらい線、京急線、相鉄線、市営地下鉄線、横浜シーサイドライン) の計画運休が判明した場合	周知時	○ <u>登校は中止</u> してください。		○学校からすぐーる配信で、お知らせをします。 全校一斉休校になり、当日の給食は全市一斉に中止になります。		
在 校 中	特別警報 暴風警報 大雪警報 暴風雪警報	発令開始時	○テレビ・ラジオ・インターネット等で状況を把握し、 <u>すぐーる配信</u> されているか、時々 <u>チェック</u> をお願いします。		○学校が必要と判断した場合は、 <u>下校時間の変更や、「児童引き渡し」を行う場合があります。</u> ※レベル3の大雨警報や土砂災害警報であっても、学校が必要と判断した場合は、 <u>下校時間の変更や、「児童引き渡し」を行う場合があります。</u> この場合、すぐーるでお知らせします。		引き渡しは、児童調査票に記載されている保護者の方または代理人にあたる方のみに行います。そのため登録されていない方への引き渡しはできない場合があります。
	(暴風警報を伴わない) レベル4以上の 大雨危険警報 土砂災害危険警報						
	火山噴火降灰予報						
	大規模地震 (震度5強以上)	発生時	○テレビ・ラジオ・インターネット等で状況を把握し、 <u>児童を引き取りに学校に来てください。</u> ※旭区が震度5弱以下でも、他区で震度5強以上が観測されれば引き渡しとなります。		○授業を打ち切り、周辺の状況の安全が確認されるまで児童は学校で留めおきます。 <u>自動的に「児童引き渡し」となり、学校で保護者に引き渡します。</u>	・すぐーる配信に努めますが、不可能な場合があります。	
登 下 校 途 中	発 生 状 況		家庭・児童の対応 (※子どもたちにわかりやすいような表現で書いています。)		学 校 の 対 応		
	大規模地震 (震度5強以上)	発生時	○崩れやすい建物から離れ、地震がおさまるまで落ち着いて待ちましょう。あわてて道路にとび出したりしないようにしましょう。地域の方に助けを求めましょう。 ○自分の家に近い場合は自分の家に、学校に近い場合は学校に戻りましょう。		○状況によって、児童への対応や地域の状況把握のために通学路の見回りをします。		
	Jアラート (全国瞬時警報システム) ※自然災害以外の警報	発信時	○屋外にいる場合は近くのできるだけ頑丈な建物や地下などに避難しましょう。近くに適当な建物がない場合は物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守りましょう。				